

当院でのお弁当販売を1年以上継続してみても

研究計画書

医療法人啓清会 関東脳神経外科病院 栄養調理課

研究代表者 杉浦 ゆかり

第1版 作成年月日：2025年1月31日

1. 研究名称

当院でのお弁当販売を1年以上継続してみても

2. 研究実施体制

本研究は以下の体制で実施する。

1. 研究責任者 関東脳神経外科病院 栄養調理課 管理栄養士 杉浦 ゆかり
2. 研究分担者 関東脳神経外科病院 栄養調理課 管理栄養士 松村 安紀
関東脳神経外科病院 栄養調理課 管理栄養士 高山 あずさ
3. 個人情報管理者 関東脳神経外科病院 病院長 清水暢裕
4. 外部解析機関 なし

3. 研究背景・動機

2023年10月から当院でお弁当販売を開始し、1年以上が経過した。この期間により、知名度も上がり、予約をしてくれる患者さんや、お弁当がすぐに売り切れ、足りなくて追加販売をする日も増えてきた。この1年を振り返り、売れ行きや動向を調査する。

4. 研究の目的及び意義

フードロス削減のために始めたお弁当販売だったが、売れる個数が増えてきた。1年を振り返り、売れ行きや動向、実際に購入する人の声を知ることによって、今後のお弁当販売に活かせる。

5. 研究の期間及び方法

(1) 研究実施期間

2023年10月10日～2025年3月31日 1年6ヶ月間

(2) 研究のアウトライン

お弁当のメニューと売上数、お弁当が売れるために工夫した点。
購入者へのアンケート

(3) 研究のデザイン

後ろ向き観察研究

(4) 研究の実施方法

記録しているお弁当の売り上げ、個数をグラフ化する。
売上がよかったメニューを振り返る。
購入者へのアンケート結果を集計する。

(5) 目標症例数

356日 150件

- (6) 目標症例数の設定根拠
土日祝日を除く平日の販売予定日
2025年2月～3月のアンケートの予測数

- (7) 調査項目と試料・情報の収集方法
 - ①お弁当の売り上げ表
 - ②お弁当の献立
 - ③購入者へのアンケート

6. 評価項目

- ①お弁当の売り上げ個数
- ②お弁当の売り上げ金額
- ③購入者へのアンケート結果

7. 研究対象者の選定方法

- (1) 選択基準
お弁当販売した個数

- (2) 除外基準
売れ残りのお弁当

8. 研究の変更、中止

- (1) 研究の変更
本研究の研究計画書等の変更または改訂を行う場合は、あらかじめ関東脳神経外科病院倫理委員会の承認及び病院長の許可を必要とする。

9. インフォームド・コンセントを受ける手続き等

- (1) 研究内容の公開（オプトアウト）
今回の研究はインフォームド・コンセントを適用する。

- (2) インフォームド・コンセント
お弁当購入者にアンケートの回答をしてもらう。
(別紙参照)

10. 個人情報の取り扱いと匿名化の方法

本研究で取り扱う試料・情報等は、個人情報管理者が匿名化したうえで研究・解析に使用する。匿名化の方法については、誰のものか一見して判別できないよう、本研究で取り扱う情報から個人を識別できる情報を削除し独自の符号を付す作業を行う。個人情報と符号の対応表は、個人情報管理者が厳重に保管する。また、本研究の成果を学会発表及び論文発表する際には、研究対象者の個人を特定できる情報は一切使用しない。

11. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、これらの総合的評価ならびに当該負担及びリスクを最小化する対策

(1) 予測される利益

お弁当販売の動向がわかれば今後のお弁当販売に役立たせる事ができる

(2) 予測される危険と不利益

特になし

12. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

研究対象者の本研究終了後に継続する通常診療において活用される従来の診療情報については、医師法等の関連法規に従い保管する。本研究の実施のために匿名化され取得した研究関連情報については、研究責任者の所属する部署の外部から切り離されたコンピュータのハードディスク内に保存する。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピュータをパスワード管理し、情報の紛失・遺漏等に十分配慮した取り扱いのうえで保管を行う。

本研究終了後において、本研究で得られた研究対象者の情報を他の研究において使用することはない。研究責任者は、研究終了後、研究等の実施に係るデータ及び文書を研究の中止または終了後少なくとも5年間、あるいは研究結果発表後3年が経過した日までの間のどちらか遅い期日まで保存する。その後、個人を特定されないよう処理したうえで廃棄する。なお、通常診療に用いる医療情報の保管・廃棄は医師法等の関連法規の規定に従うこととする。

13. 研究期間への長への報告内容及び方法

(1) 研究の実施の適正性若しくは研究結果の信頼を損なう事実等の情報を得た場合

研究責任者は、研究の実施の適正性若しくは、研究結果の信頼を損なう事実若しくは情報または損なうおそれのある情報を得た場合は、速やかにその旨を当該病院長へ報告する。

(2) 研究の倫理的妥当性もしくは科学的合理性を損なう事実等の情報を得た場合

研究責任者は、研究の倫理的妥当性若しくは科学的合理性を損なう事実若しくは情報または損なうおそれのある情報であって、研究の継続に影響を与えると考えられるものを得た場合は、遅滞なくその旨を当該病院長へ報告する。

(3) 研究終了（中止の場合を含む）の報告

研究責任者は、研究を終了したときは、その旨及び研究の結果概要を文書により病院長へ報告する。

(4) 研究に用いる資料及び情報の管理状況

研究責任者は、得られた情報等の保管について、必要な管理を行い、管理状況について病院長へ報告する。

14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等研究に係る利益相反に関する状況

(1) 研究資金

なし

(2) 利益相反

なし

15. 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は病院内発表・国内学会発表を予定している。

16. 研究対象者及びその関係者からの相談等への対応

研究対象者等及びその関係者からの相談については、以下の相談窓口にて対応する。

【相談窓口】

研究責任者

関東脳神経外科病院 栄養調理課 課長 松村 安紀

〒360-0804

埼玉県熊谷市代 1120

[TEL:048-521-3133](tel:048-521-3133)

17. 委託業務内容及び委託先の監督方法

本研究に委託業務は無い。

18. 使用文献

特に無し

当院のお弁当についてのアンケート

- 性別 （男性 ・ 女性 ・ その他）
- 年代
（20代以下 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上）
- 購入頻度 （初めて ・ 2回目 ・ それ以上）
- 購入のきっかけ
（院内ポスター ・ インスタ ・ 面会家族 ・ 栄養指導で紹介された ・ 家族が買ってきた ・ その他）
- 価格について （安い ・ 適切 ・ 高い）
- 味について （薄い ・ 普通 ・ 濃い）
- 量について （少ない ・ ちょうど良い ・ 多い）
- その他意見がありましたらお願いします。